

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	甲斐ある人といわれたいむ
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年・人数等	全年次
ねらい	総合的な探究の時間を通して、校是「甲斐ある人と言はれなむ」を体現できる人材の育成を目指す。甲斐ある人とは、「真心をもって 世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する」ことである。

**【実践内容】**

〔志教育の視点〕

教科同士をつなげて学ぶこと（教科等横断的な学習）に取り組むことで、自身の興味関心の幅を広げ、主体的に取り組む態度を育てる。また、自分の考えについて、根拠（理由）をつけて順番にわかりやすく説明する（論理的表現する）活動を行い、地域の課題を見つけたり解決方法を提案したりできるようになり、地域社会に貢献できる人をめざす。

**【活動内容】**

1 1年次 SDGs研究

(1) SDGs講演会

石巻市内のNPO法人や宮城県水産技術センターなど、10団体の方々をお招きし、「NPOをつくった理由」「実際の活動内容」「SDGs17の目標との関わり」「高校生に期待すること」などについてお話しいただきました。石巻市が抱える課題と、その解決に向けた具体的な取り組みを知ること、地域の新たな魅力に気づくことができ、自分が地域とどのように関わっていけるかを考える貴重な機会となりました。



(2) フィールドワーク

地域が抱える問題に対して課題解決につながる探究テーマを設定し、疑問に思ったことや、文献やインターネットだけでは得られない情報を確かめるために、NPO団体や企業を実際に訪問しました。自分の目で見て話を聞き、疑問を直接質問するフィールドワーク（調査）を行いました。地域の大人と直接かかわることで、探究活動がより深まるだけでなく、地域社会の一員であるという自覚も育まれます。



## 2 2年次 分野別課題研究

### (1)「研究とは何か」講演会

石巻専修大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学の教授をお招きし、「研究とは何か」や「研究のプロセス」、「問題の設定の仕方」「データの集め方」など、方法研究を行う上での注意点を学んだり、高校の学びと大学の学びの関係性について学ぶとともに、高校生のうちに身に付けておきたいことについて学んだりするため、をお招きし、講話を聞きました。



### (2)「分野別課題研究」中間発表

石巻専修大学、宮城学院女子大学、東北福祉大学の教授をお招きし、分野別課題研究の中間発表を行いました。これまでの探究活動の成果をポスターにまとめて発表し、直接アドバイスをいただいたり、生徒同士で質問や意見交換をしたりして、探究をさらに深めました。



## 3 3年次 自己実現研究

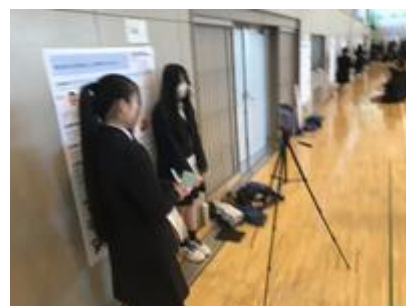
### (1) 課題研究論文作成

2年次で行った分野別課題研究について、論文作成を行いました。論理的な文章を意識し、文章の構成や引用の仕方など、ルールに従ってまとめました。



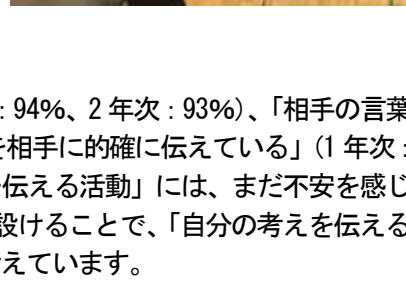
### (2) グループディスカッション

テーマは「日本におけるムスリムの土葬墓地問題について」、「洋食店で想定される機器導入のメリットとデメリットについて」の2つとし、これらをもとにグループディスカッションを行いました。時事問題や大学入試で扱われる内容を参考にテーマを設定しています。生徒は、自分の考えを深めるために対話を重ね、相手の意見を聞きながら自分の考えとの共通点や違いに気づき、より根拠のある意見へと整理していきました。



## 4 全学年 探究発表会

各年次で探究発表会を行うとともに、他校で実施される発表会にも積極的に参加しています。本校主催の発表会には、気仙沼高校や古川黎明高校をはじめとする十数校の生徒が集まり、ポスターセッションを行いました。同年代の他校生徒と交流することで、新しい見方や考え方を得ることができ、活動をより有意義なものにすることができました。また、これまで指導をいただいた大学教授へオンラインによる発表も行い、探究活動の最後のアドバイスを貰いました。



### 【成果・課題や今後に向けて】

#### ○成果

みやぎ学力調査によると、「人の役に立つ人間になりたいと思っている」(1年次:94%、2年次:93%)、「相手の言葉や意見に耳を傾けるようにしている」(1年次:97%、2年次:97%)、「自分の考えを相手に的確に伝えている」(1年次:76%、2年次:68%)といずれも高い結果が示されました。一方で、「自分の考えを伝える活動」には、まだ不安を感じている生徒もいます。今後も、さまざまな場面で学校外の人たちと交流する機会を設けることで、「自分の考えを伝える活動」をさらに充実させ、生徒が自信をもって表現できるようにしていきたいと考えています。

#### ○課題や今後に向けて

令和8年度も積極的に地域と交流し、石巻地域の方々と共に地域の課題を発見し、高校生だからこそできるチャレンジ取り組める環境づくりをさらに進めていきたい。